

令和7年4月7日
(危機管理課扱い)

陸上自衛隊第1ヘリコプター団長
陸将補 伊東 佳哉 殿

鹿児島県知事 塩田 康一



陸上自衛隊オスプレイ（V-22）の飛来について（要請）

本県の危機管理・防災行政については、日頃から御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

オスプレイについては、令和5年11月に墜落事故が発生し、令和6年11月に奄美空港で予防着陸が相次ぐなど、県民の間には不安の声があるものと考えています。

訓練については、国の責任において実施されるものであり、住民の安心・安全の確保等に万全の対策を講じていただきますよう下記のとおり要請します。

記

- 1 訓練の詳細については、適宜、情報提供を行うとともに、事前の情報と異なる状況が生じた場合は、その都度報告すること。
- 2 訓練の実施に当たっては、地元の意向を尊重するとともに、住家等の上空を避けて飛行するなど、住民の安心・安全の確保に万全を期すること。
- 3 オスプレイについては、令和5年11月の墜落事故等を受け、県民の間には不安の声があることから、徹底した安全対策と、より丁寧な情報提供を行うこと。
- 4 国においては、事件・事故等が発生しないよう万全を期すとともに、万一、事件・事故等が発生した場合は、国の責任において、迅速かつ適切に対処するとともに、速やかな情報提供を行うこと。